

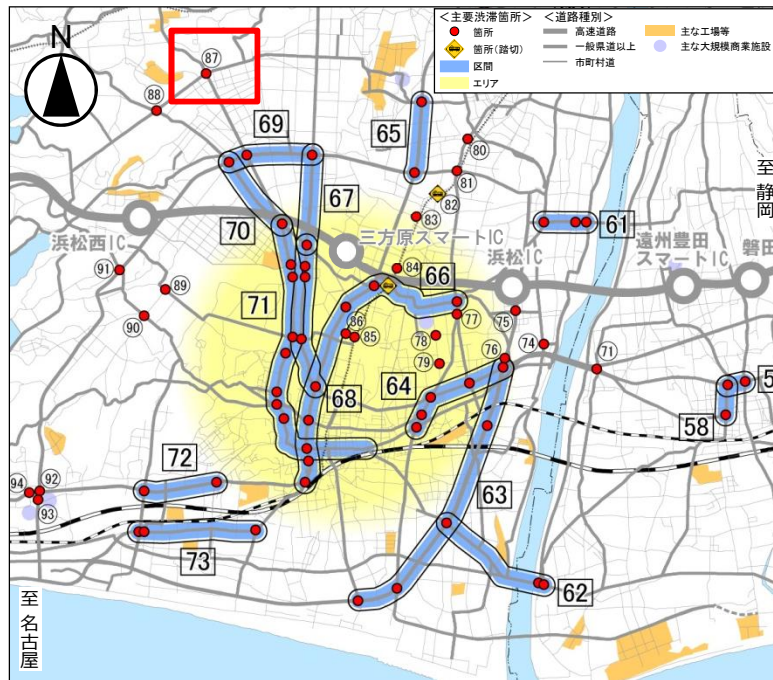
渋滞対策の効果・影響（案）

1. 国道257号 根洗交差点 交差点改良（実施主体：浜松市）＜令和6年3月29日完了＞

1-1 国道257号 根洗交差点 交差点改良(右折帯新設)

- 国道257号の根洗交差点付近では、県道細江浜北線との交差点で、浜松市街地方面への直進交通の集中および右折車両の滞留により交通渋滞が発生。
- 根洗交差点は、平成30年度に交差点改良事業に着手し、令和6年3月29日に右折帯新設工事が完了。
- 交差点西側の右折車線新設により、滞留車両による渋滞が緩和し、速度が向上。

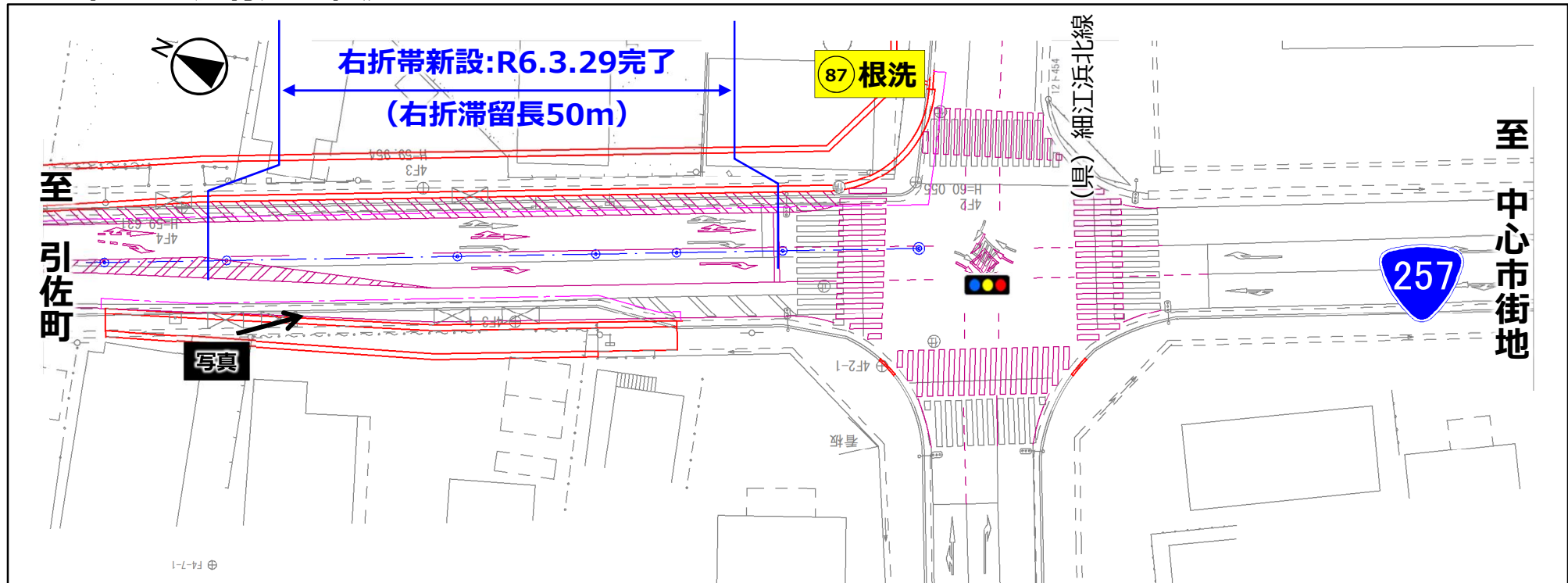
■ 位置図



■ 対策前後の状況



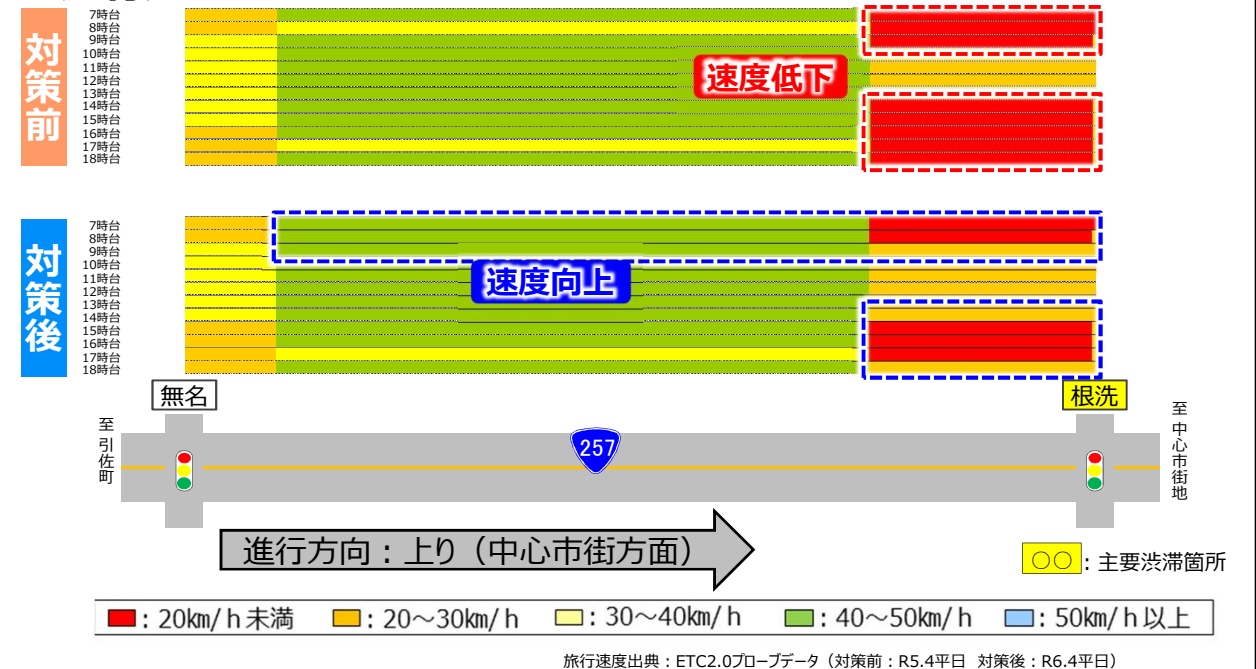
■ 対策概要・旅行速度状況



■ 事業概要

- 路線名称：一般国道257号
- 着手年度：平成30年度
- 事業内容：右折帯新設
- 進捗状況：令和6年3月29日 完了

■ 旅行速度の変化

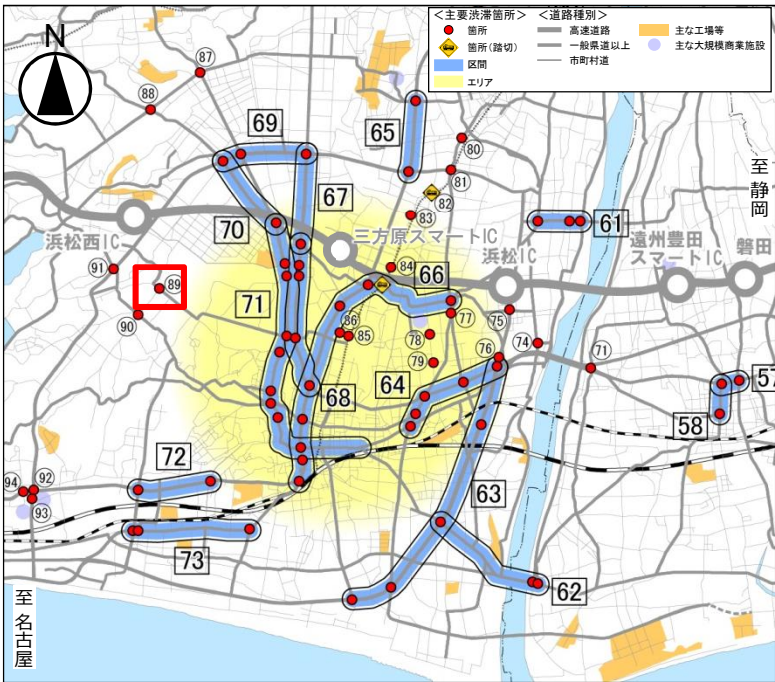


2. (一)湖東和合線 自衛隊南交差点 交差点改良 (実施主体:浜松市) <令和6年1月完了>

2-1 (一)湖東和合線 自衛隊南交差点 交差点改良(右折帯新設)

- 県道湖東和合線と市道伊左地西山線が接続する自衛隊南交差点は、朝・夕ピーク時の交通集中に加え右左折帯がなく交差点の交通容量不足のための渋滞が発生。
- 平成31年度に交差点改良事業に着手し、令和6年1月に左折帯及び右折帯の新設工事が完了。
- 交差点東側の左折車線の新設及び南側の右折車線の新設により、交差点付近の旅行速度が向上し、渋滞長の発生継続時間数も減少している。

■位置図



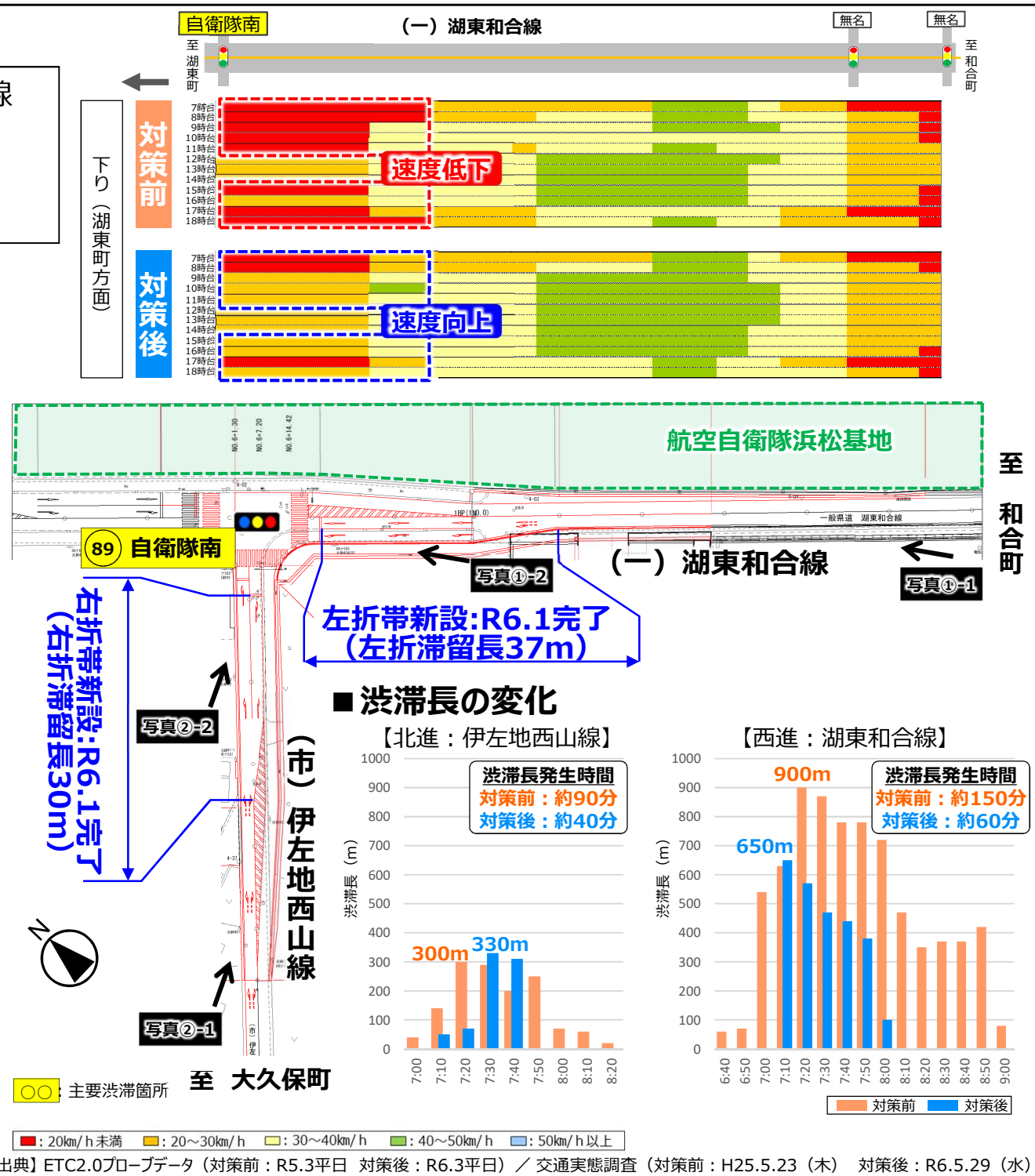
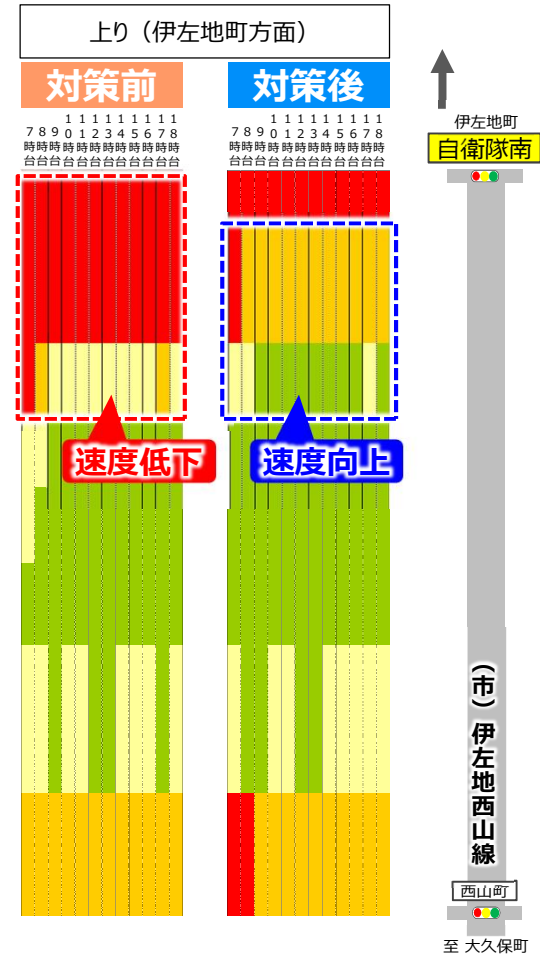
■対策前後の状況



■対策概要・旅行速度状況

■事業概要

- 路線名称：一般県道湖東和合線
- 着手年度：平成31年度
- 事業内容：付加車線設置
- 進捗状況：令和6年1月 完了



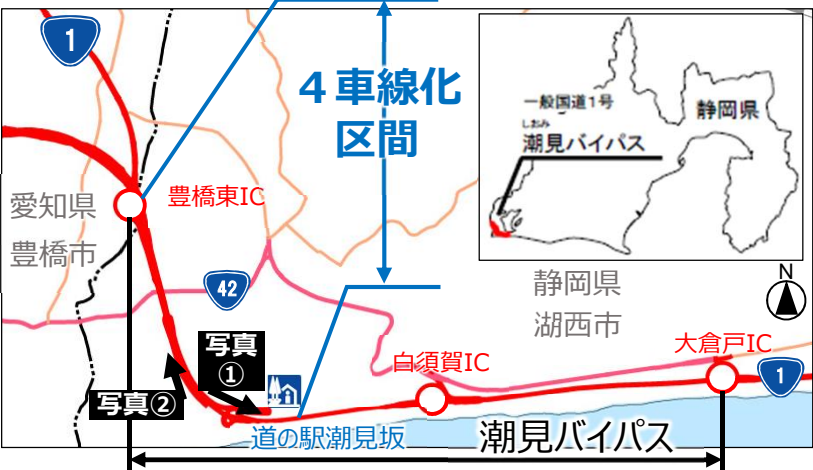
【出典】ETC2.0プローブデータ (対策前：R5.3平日 対策後：R6.3平日) / 交通実態調査 (対策前：H25.5.23 (木) 対策後：R6.5.29 (水))

3. 国道1号 潮見バイパス 付加車線設置（実施主体：浜松河川国道事務所）＜令和5年8月完了＞

3-1 国道1号 潮見バイパス 付加車線設置

- 国道1号潮見BP 道の駅潮見坂付近～豊橋東ICは、国道23号豊橋東BP開通（H25.6）後の交通量増加に伴い速度低下や追突事故が発生している。
- 追突事故の抑制を図るため、上下線にて付加車線設置工事を実施した。（下り：2023.6.2開放、上り：2023.8.10開放）
- 上りは道の駅潮見坂付近における速度低下（平日・休日）、下りは潮見トンネル付近における速度低下（休日）がそれぞれ緩和している。

■位置図



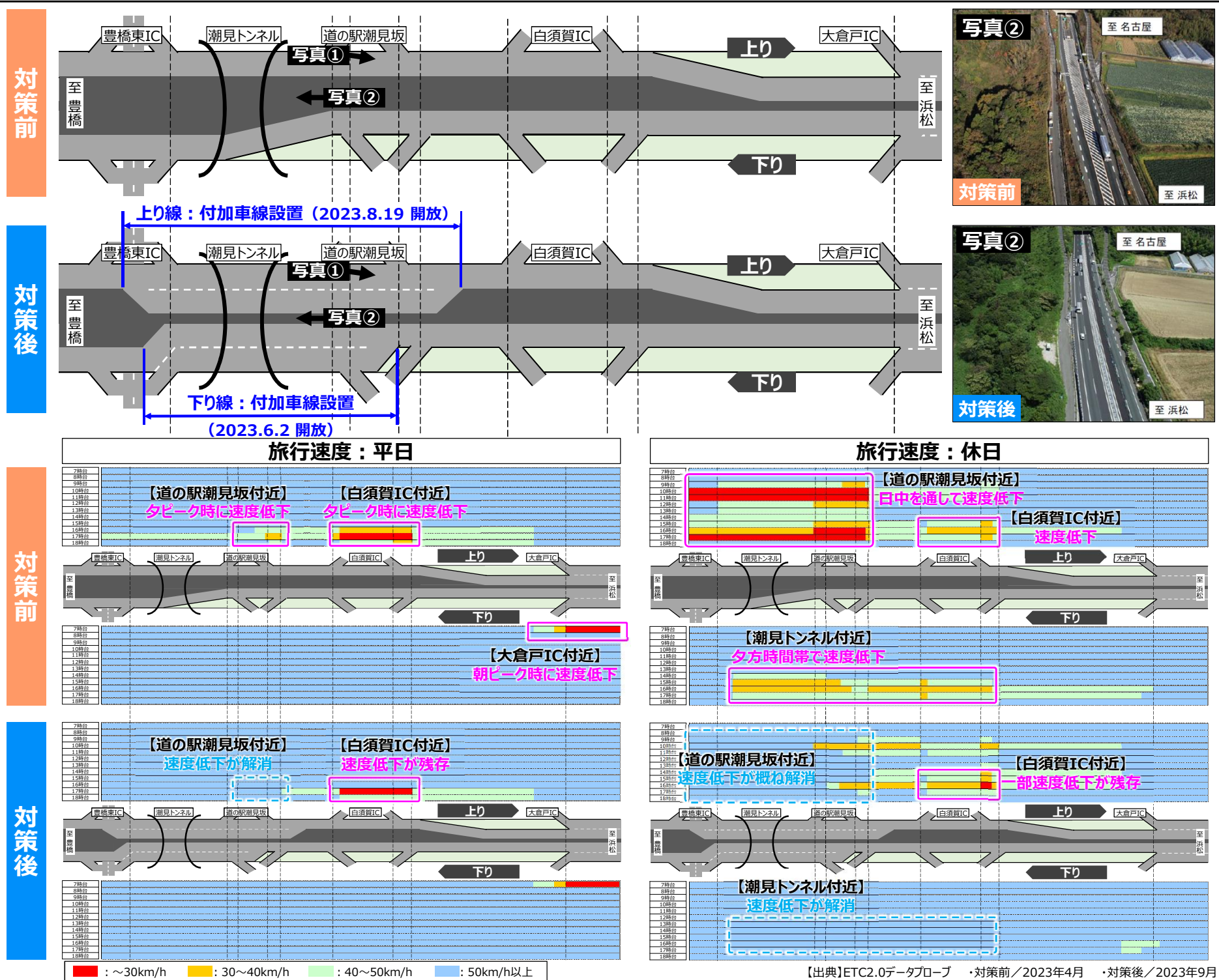
■対策前後の状況



■事業概要

- 路線名称：一般国道1号 潮見バイパス
- 事業内容：付加車線設置
- 進捗状況：令和5年8月10日 完了

■対策概要・旅行速度状況



4. 河津下田道路(Ⅱ期)河津七滝～河津逆川IC(実施主体:沼津河川国道事務所) <令和5年3月19日完了>

4-1 河津下田道路(Ⅱ期)の部分開通

- 伊豆縦貫自動車道 国道414号 河津下田道路(Ⅱ期)のうち、河津七滝IC～河津逆川IC(延長3.0km)が令和5年3月19日に開通。
- 国道414号と(主)下佐ヶ野谷津線の交通量の約3割が転換し、河津下田道路の交通量は約4,200台/日となっている。
- 毎年2月に開催される「河津桜まつり」において、「河津桜まつり」の会場へ向かう観光交通と下田方面の交通が分離され、河津町内の旅行速度が向上。

■位置図



■事業概要

事業名:伊豆縦貫自動車道
河津下田道路(Ⅱ期)

施行者:国土交通省
沼津河川国道事務所

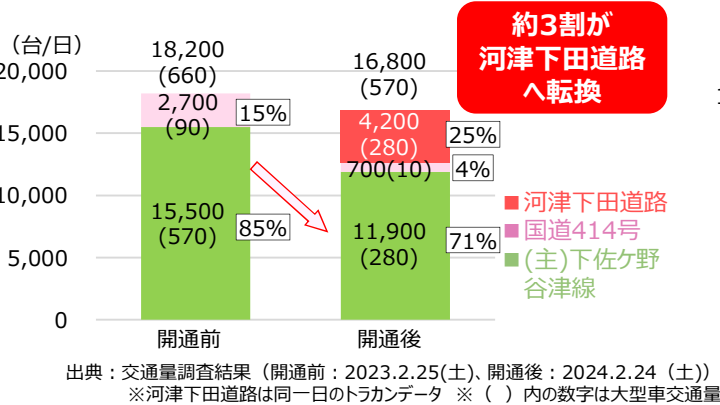
事業延長:6.8km
※開通区間:河津七滝IC
～河津逆川IC

事業期間:平成24年度～
※開通区間の開通時期:
令和4年度

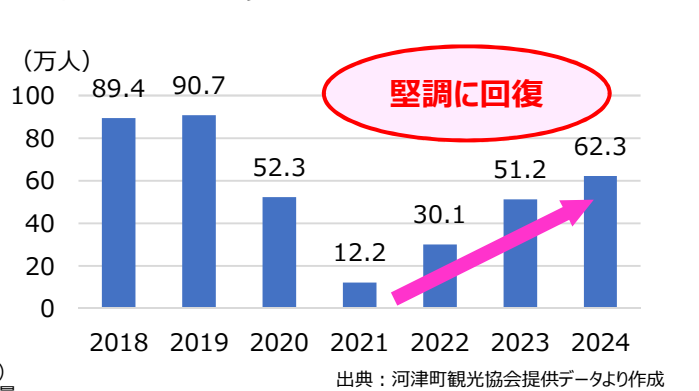
■整備効果



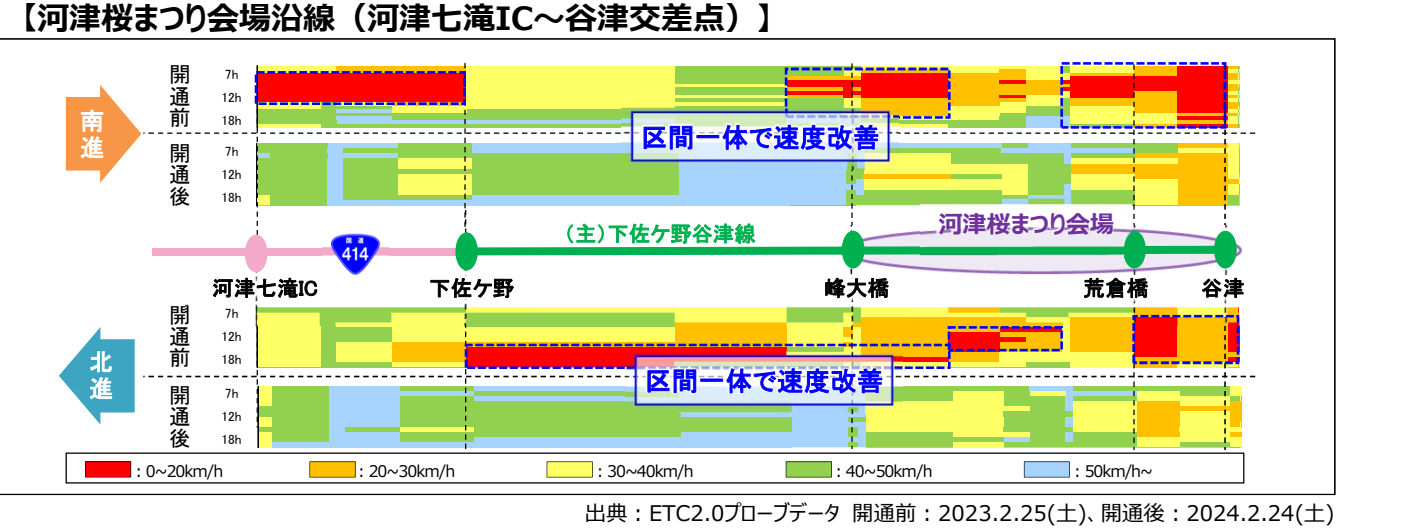
■開通前後の交通量変化(A断面)



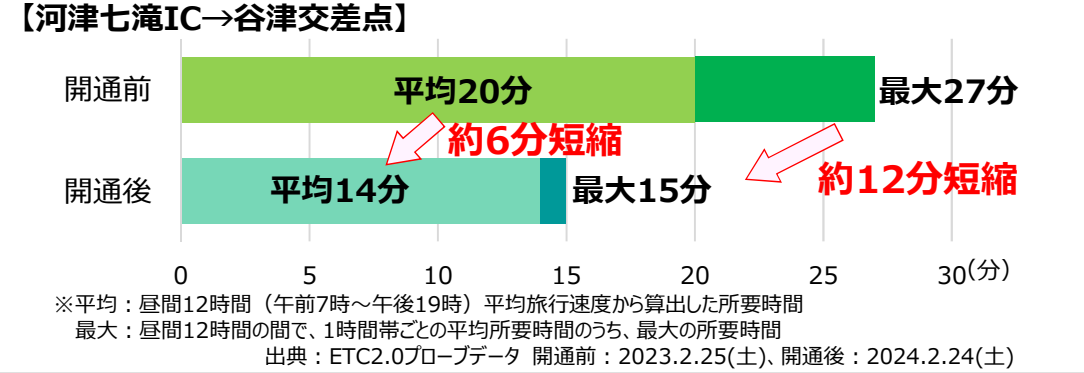
【参考】河津桜まつりの来場者数



■開通前後の速度状況(河津桜まつり開催時期)



■開通前後の所要時間(河津桜まつり開催時期)

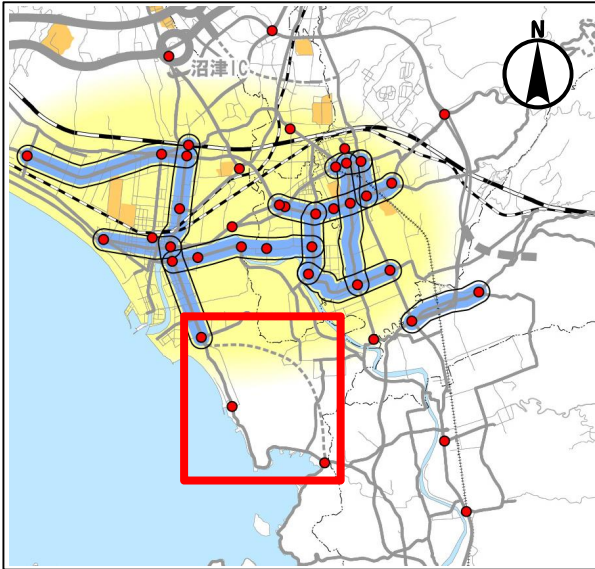


5. 国道414号 静浦バイパス第1期工区（実施主体：静岡県）＜令和5年3月27日完了＞

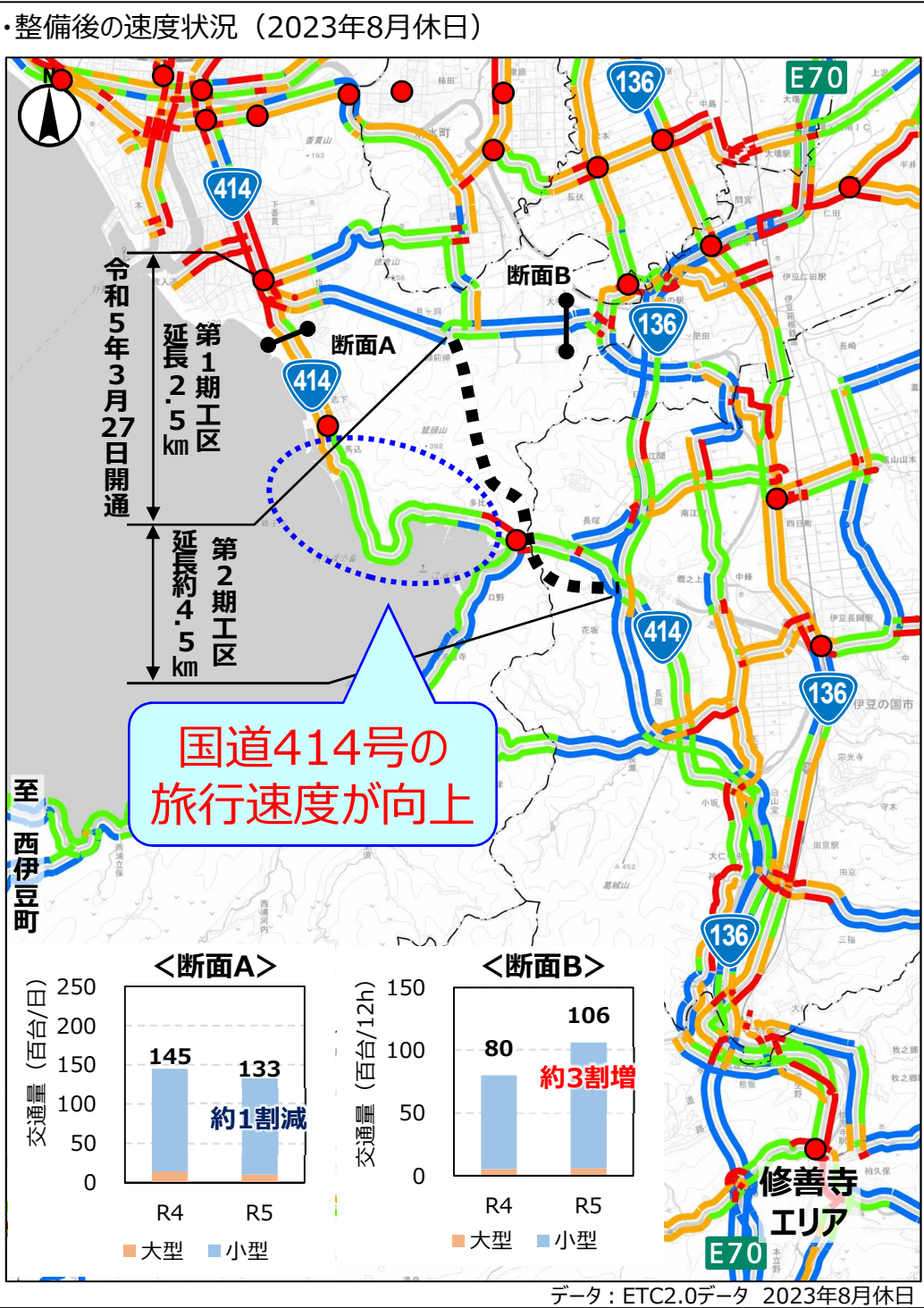
5-1 国道414号 静浦バイパス第1期工区の開通

- 国道414号静浦バイパス第1期工区（延長2.5km）は、平成6年度に事業化され、令和5年3月に開通。
- 国道414号現道では、開通後交通量が約1割減少。
- 観光期や朝夕ピーク時には、交通集中による速度低下が発生していたが、静浦バイパス開通1年後は、交通分散による現道区間の旅行速度向上が確認。

■位置図



■整備効果



■事業概要

事業名:国道414号 静浦バイパス 第1期工区

施行者:静岡県

事業延長:2.5km

設計速度:60km/h

幅員構成(平地部):全体幅員27m
上り下り各1車線(暫定形)

事業期間:平成6年度～令和4年度



6. 国道136号バイパス 照明LED化（実施主体：静岡県）＜令和5年9月完了＞

6-1 国道136号バイパス 照明LED化

- 国道136号バイパスの沼津方面（上り）は、サグやトンネルの連続等により花坂第1トンネルを先頭とした速度低下が発生。
- 本線における速度低下の対策として、令和5年6～9月に花坂第1トンネル～長岡第3トンネルにおける照明のLED化を実施。
- トンネル照明のLED化により、トンネル坑内の視認性が向上し、花坂第1トンネルを先頭とした速度低下が緩和。

■位置図・事業概要



・LED化前



・LED化後



撮影日：LED化前・・・2023. 6
LED化後・・・2023.10

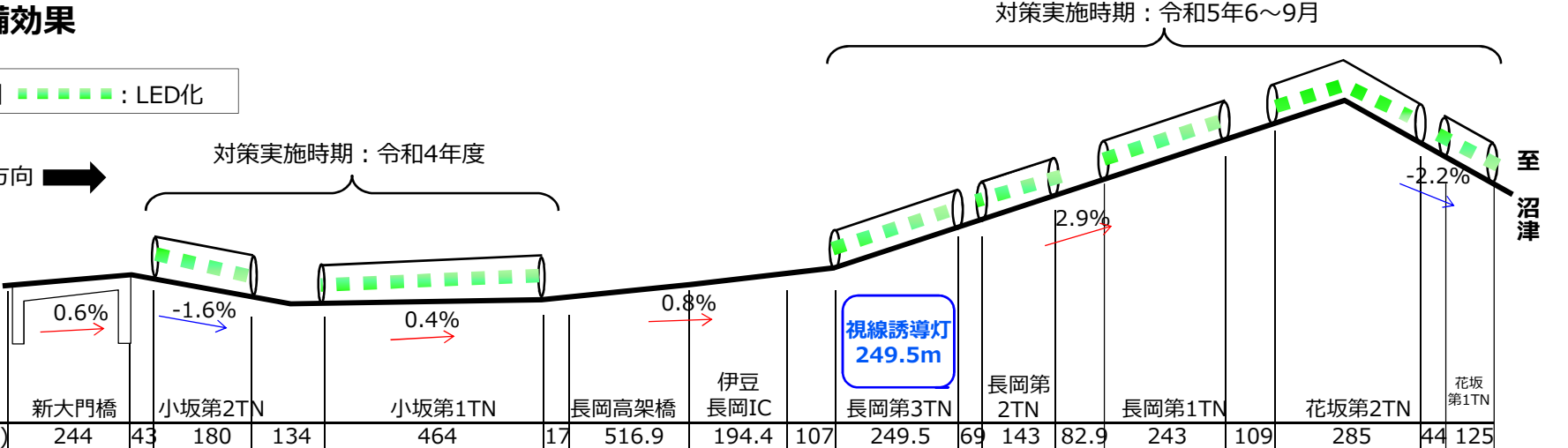
■整備効果

【凡例】 ■■■■ : LED化

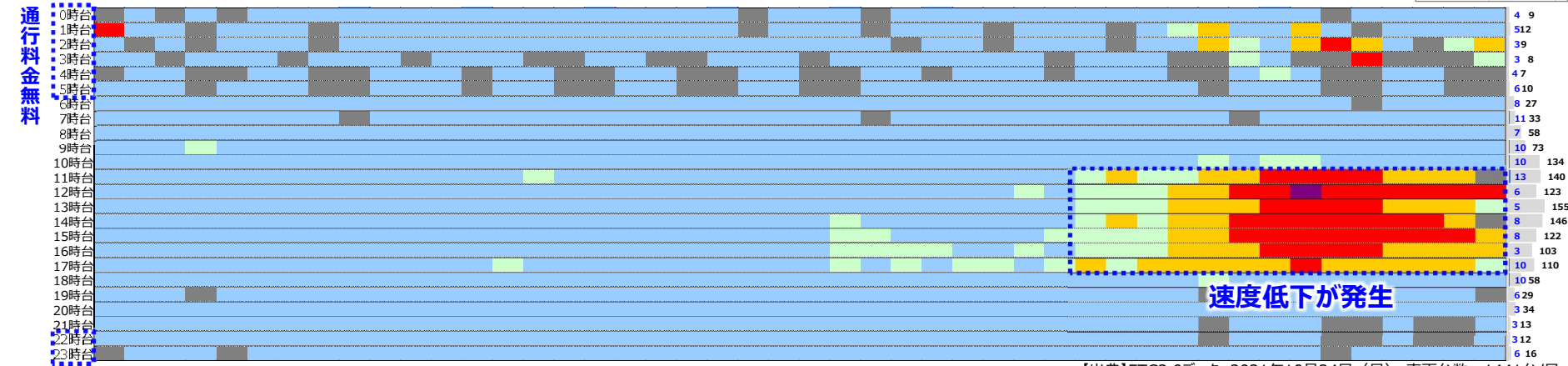
進行方向 →

至
下
田

施設名
延長(m)

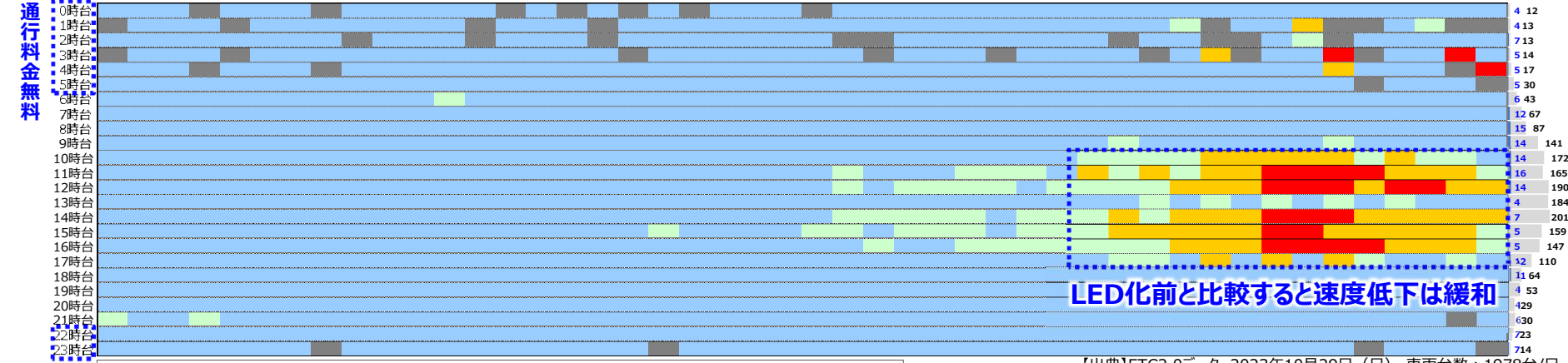


・LED化前



【出典】ETC2.0データ 2021年10月24日（日） 車両台数：1441台/日

・LED化後



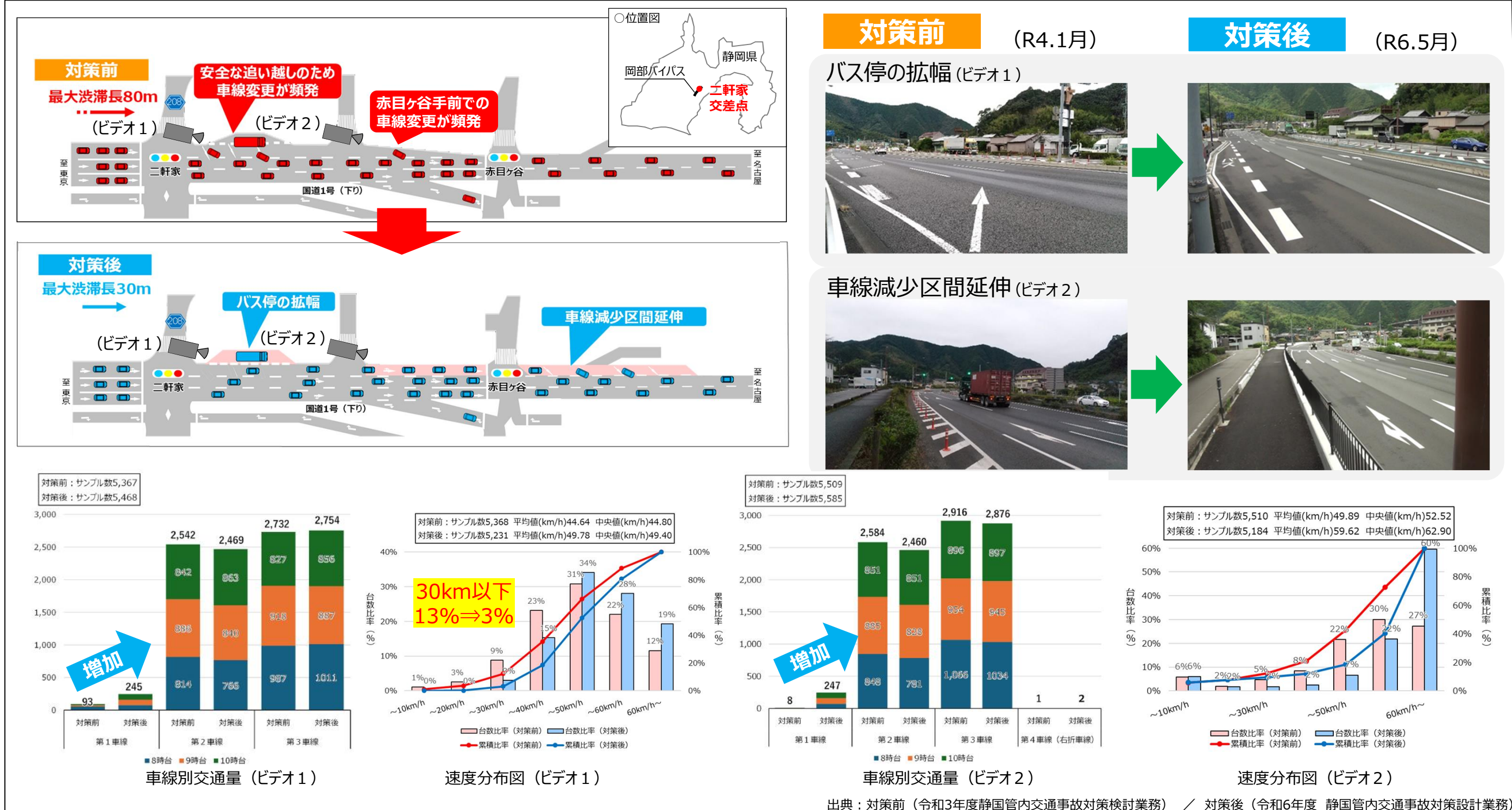
【出典】ETC2.0データ 2023年10月29日（日） 車両台数：1978台/日

7. 国道1号二軒家交差点改良（実施主体：静岡国道事務所）＜令和6年3月15日完了＞

7-1 二軒家交差点 対策内容・効果

- 令和6年3月15日に、国道1号二軒家～赤目ヶ谷交差点間の3車線化工事が完了。
- バス停や信号のない交差路から合流地点が車線減少区間となっていたため、車線変更に伴う急ブレーキや速度低下が発生。
- 車線減少区間が延長されたことで、第1車線の利用交通が増加し、また旅行速度30km/hを下回る車両割合が減少。

■ 対策前後の交通状況・渋滞要因



8. 富士川かりがね橋(実施主体:静岡県・富士市) <令和6年3月9日完了>

8-1 富士川かりがね橋

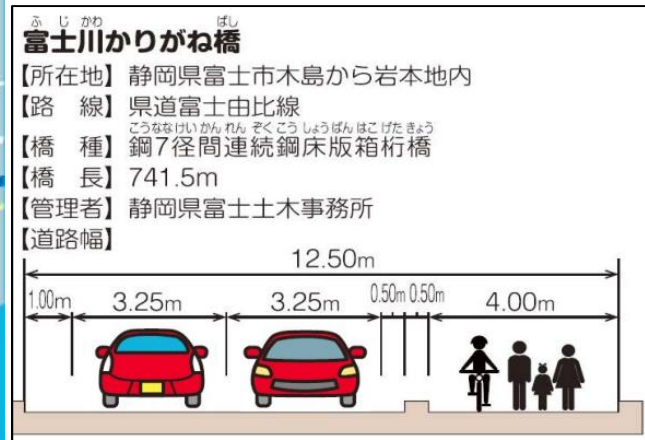
- 富士市の平野部において、一級河川富士川にかかる一般道路の橋梁は「富士川橋」と「新富士川橋」の2橋しかなく、交通容量が不足し、慢性的な渋滞が発生。
- 富士川橋の渋滞緩和、緊急輸送路の補完、富士川東西の交流促進などを目的として、富士川かりがね橋及び周辺道路を整備。令和6年3月9日開通。
- 開通後、富士川橋周辺（特に富士川東側）の渋滞が緩和。引き続き、令和6年秋季にかけてモニタリング（交通量調査等）を実施していく。

■事業概要

○位置図



○標準断面図



出典：静岡県HP事業概要

○完成写真（富士川西岸下流側から望む）



撮影日時：R6.3.15

■整備効果（速報）

○富士川橋周辺（富士川橋東側）における渋滞発生状況



【開通前】R2.6.9 AM7:46

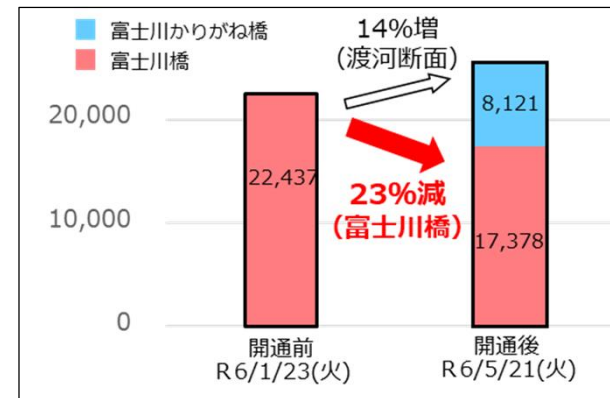


【開通後】R6.6.5 AM7:46

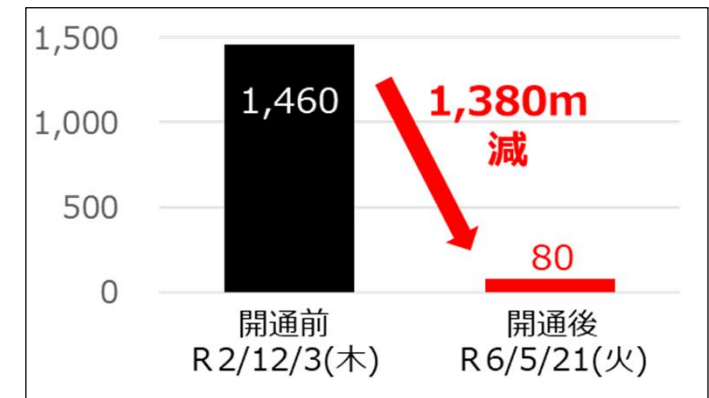
富士川かりがね橋の開通により、朝夕の慢性的な渋滞が緩和

○開通後の交通状況（富士川橋）

出典：静岡県交通量等調査結果



富士川渡河部の交通量 (台/日)



富士川橋（主要渋滞箇所）の最大渋滞長 (m)

富士川橋の交通量は23%減少、富士川橋東側から富士川橋方面への西進車両の渋滞長は最大で1,380m減少

9. 結論(案)

9-1 結論(案)

- 国道257号根洗交差点の右折帯新設工事が令和6年3月29日に完了。これにより、右折車両の滞留による渋滞が緩和し速度が向上。
- 県道湖東和合線と市道伊左地西山線が接続する自衛隊南交差点の交差点改良事業が令和6年1月に完了。これにより、交差点付近の旅行速度が向上。
- 国道1号潮見BP道の駅潮見坂付近～豊橋東ICは、追突事故の抑制を図るため、上下線にて付加車線設置工事を実施。これにより、上下線ともに速度低下が緩和。
- 伊豆縦貫自動車道 河津下田道路（Ⅱ期）河津七滝IC～河津逆川ICが令和5年3月19日に開通。これにより、「河津桜まつり」において、会場へ向かう観光交通と下田方面の交通が分離され、河津町内の旅行速度が向上。
- 国道414号静岡バイパス第1期工区が令和5年3月に開通。これにより、国道414号現道の交通量が約1割減少し、現道区間の旅行速度向上が確認。
- 国道136号バイパスの沼津方面（上り）は、令和5年6～9月に花坂第1トンネル～長岡第3トンネルにおける照明のLED化を実施。これにより、トンネル坑内の視認性が向上し、花坂第1トンネルを先頭とした速度低下が緩和。
- 国道1号二軒家交差点～赤目ヶ谷交差点の3車線化工事が令和6年3月15日に完了。これにより、車線変更に伴う減速車両が減少。
- 富士川かりがね橋及び周辺道路が令和6年3月9日に開通。これにより、富士川橋周辺（特に左岸側）の渋滞が緩和。引き続き、令和6年秋季にかけてモニタリング（交通量調査等）を実施していく。